

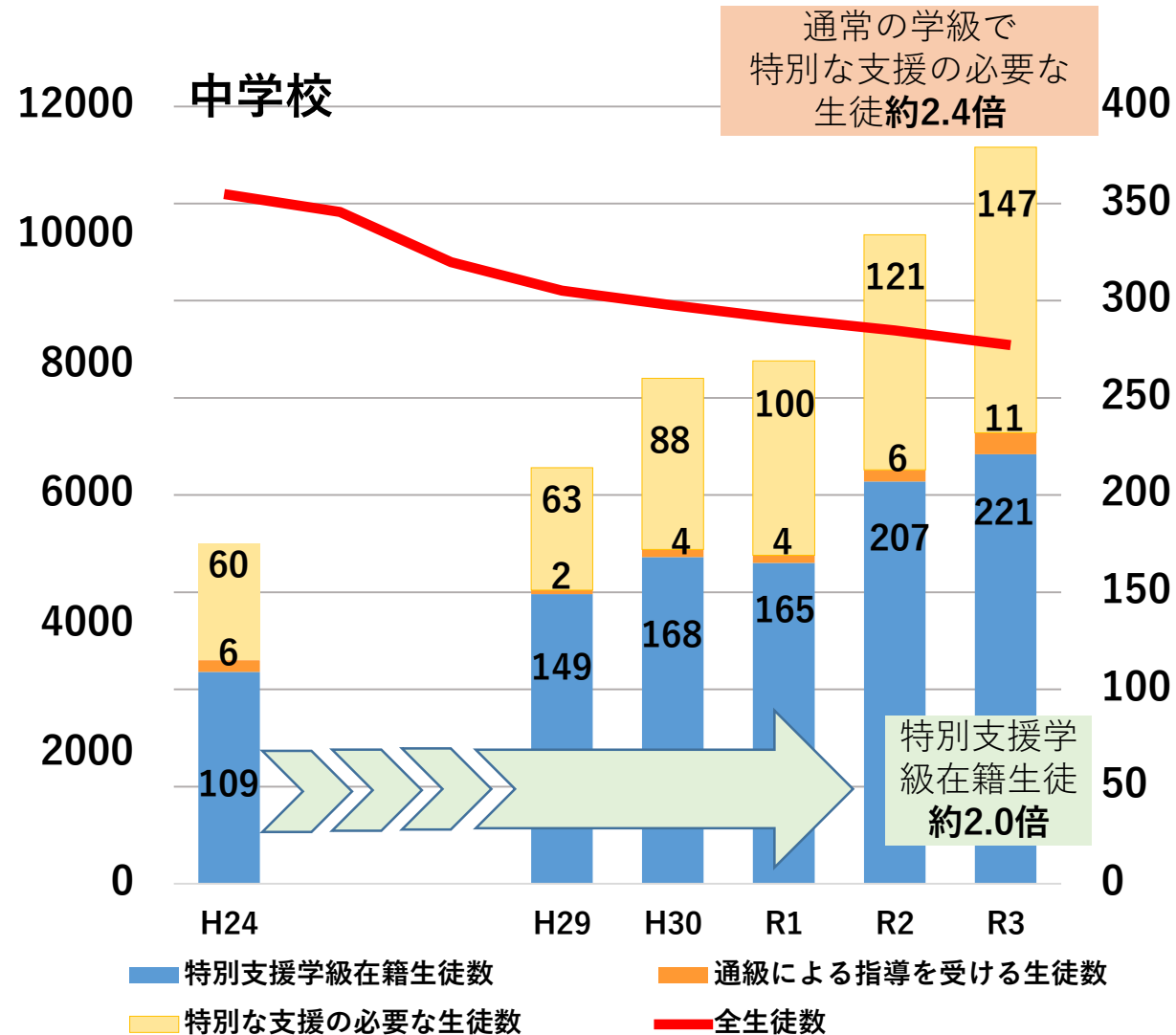
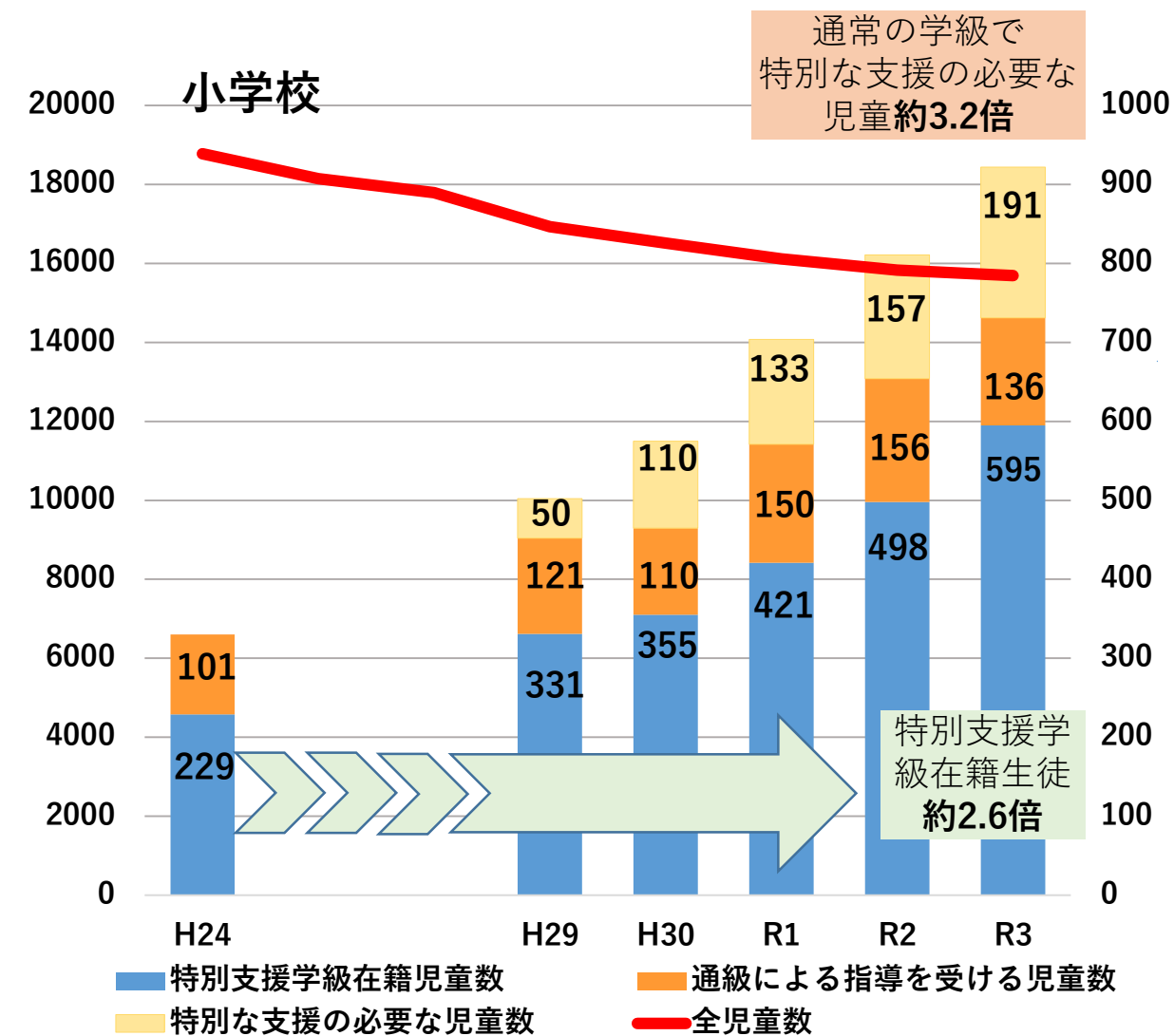
特別支援教育の現状と 今後について



令和5年2月6日
教育委員会事務局
総合教育センター



1 全児童生徒数と特別支援学級在籍・通級・通常学級において指導を受ける児童生徒数の推移

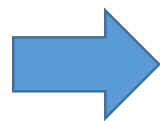


少子化により、全児童生徒数は年々減少している。
 特別支援学級在籍児童生徒数、通級による指導を受ける児童生徒数、特別な支援の必要な児童生徒数は、全国の傾向と同様に年々増加している。

2 特別支援学級・通級・通常学級において指導を必要とする児童生徒数の割合

小学校

H24 1.8%



R3 5.9% (+ 4.1 p)

中学校

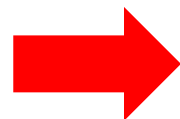
H24 1.6%



R3 4.6% (+ 3.0 p)

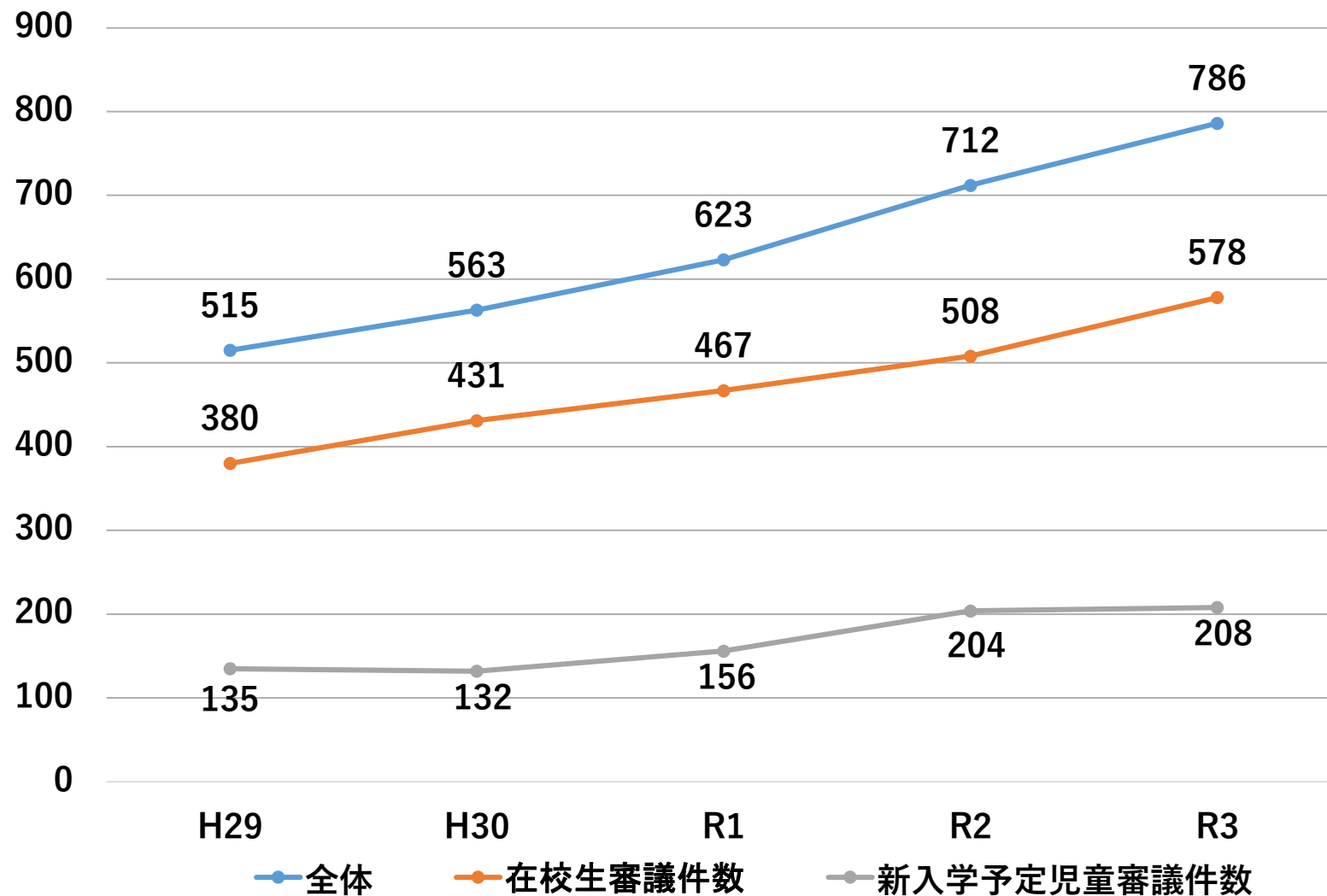
全体

H24 1.7%



R3 5.4% (+ 3.7 p)

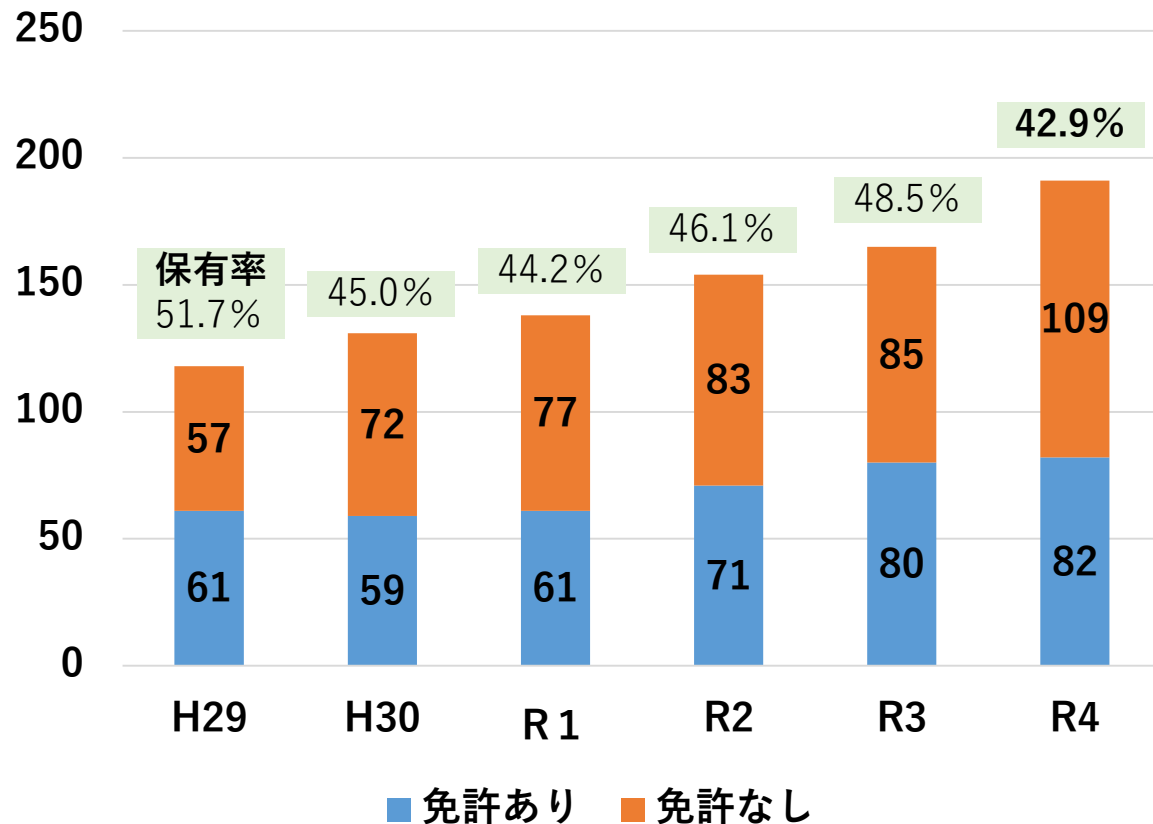
3 市教育支援審議会審議件数の推移



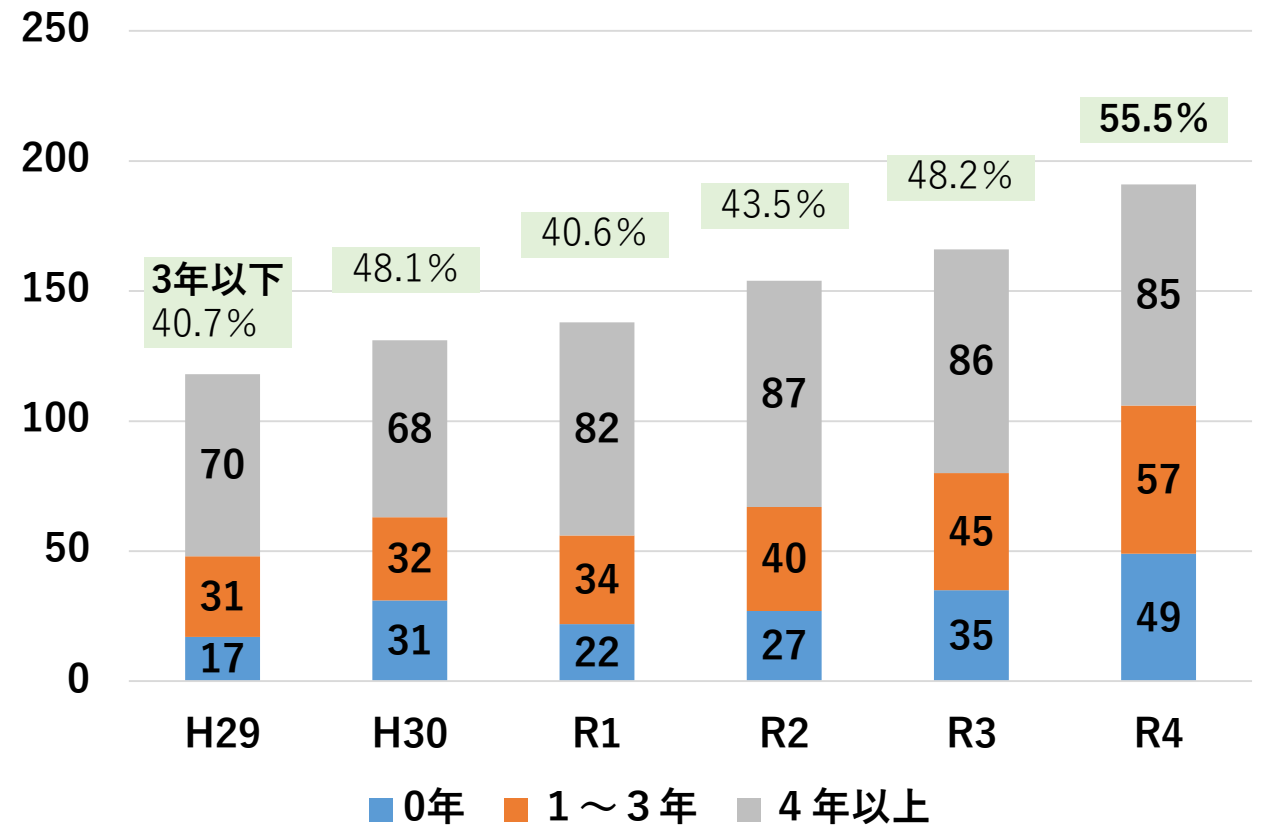
通常の学級に在籍する特別な支援の必要な児童生徒が増加している。
今後も特別支援学級在籍児童生徒数、通級による指導を受ける児童生徒数の増加が予想される。

4 特別支援学級等担当教員の現状

●特別支援学級等担当教員の特別支援教育に係る
教員免許状の保有状況



●特別支援学級等担当教員の特別支援学級等経験年数



特別支援学級等担当教員の特別支援教育に係る教員免許保有の割合は5割を下回っている。
特別支援学級等の増加にともない、特別支援学級等を担当するベテランの教員が減っている。
教員及び校内支援体制づくりについて、管理職への指導と助言の必要性が高まっている。

5 特別支援教育における課題

【学校現場の課題】

- 支援の必要な児童生徒への支援の困難さ
 - 特別支援学級等の経営の困難さ
 - 進路指導の困難さ
 - 連続した学びの場の提供の困難さ
 - 校内支援体制構築の困難さ
 - 保護者への教育相談の困難さ
 - 関係機関との連携との困難さ
- 等

- 
- 現在の困難さへの支援
 - 人員確保
 - 人材育成

6 特別支援教育の取組み

○教育支援室による支援

- ・学校への訪問支援
- ・特別支援学級等新任担当教員サポート訪問

○特別支援教育アドバイザーによる支援

◇R4:1名

○支援員の配置

◇～R3:110名 ◇R4:130名

○医療的ケアの対応

◇訪問介護ステーションとの連携 R4:1名

○スクールカウンセラーの配置

◇R4:センター6名 小学校3校に派遣

○教職員研修の充実

- ◇総合教育センター研修の充実
- ◇特別支援教育人材育成プログラム会議の充実 R4:9名
- ◇福島大学附属特別支援学校への派遣 R4:1名
- ◇福島県特別支援教育センターへの派遣 R4:1名

